

6 6.29豪雨による被災者への心のケア

	区保健センター	精神保健福祉センター	保健指導課・精神福祉室
6月28日 15時45分	各区に水防本部設置 避難所設置		
7月2日 16時	災害対策本部設置 避難所の巡回健康相談(昼間)		
5日(6日目)	消毒指導、安否確認の訪問 被災者福祉相談窓口での相談	心のケア対策について検討 (精神保健福祉センター・保健福祉課・精神福祉室)	
6日(7日目)	被災者への訪問指導	災害時のストレス反応等の資料を各保健センターに送付 市民向けのリーフレットを作成し、各センターに配布 (災害時のストレスについて、相談場所の紹介)	リーフレットの作成協力 マスコミへの情報提供
9日(10日目)	避難所の巡回健康相談(夜間)	8・9・10日目に保健婦を保健センターに派遣 避難所の健康相談(河内小学校) 医師・保健婦による(38名)	区との連絡調整、保健婦派遣の調整
12日(13日目)		避難所の健康相談(泰山荘) 医師・保健婦による(9名)	
15日(16日目)	佐伯区で被災者のフォロー体制について協議 (佐伯センター健康長寿課・保健福祉課職員と精神保健福祉センター・保健指導課)	被災者との関わり方	
	死亡者、全壊者、これに準ずる人 1か月後、2か月後、3か月後、 6か月後、1年後のTEL又は訪問でフォロー その他保健活動の中で必要とした人 1か月後、3か月後のTEL又は訪問でフォロー		
21日(22日目)		PTSDのパンフレットを作成し、各センターに配布 (家庭訪問等で利用)	パンフレットの作成協力 マスコミへの情報提供
26日(27日目)		避難所の健康相談(河内小学校)(泰山荘)17人取材対応 (医師、保健婦)	
30日(31日目)	佐伯保健センターでPTSDの勉強会	佐伯区役所の勉強会に職員派遣(医師、保健婦)	
12年2月25日		講演会「災害ストレスと心のケア」相談機関職員対象 援助者のための「災害時の心ケアについて」マニュアル作成	

(資料6)北九州市立精神保健福祉センター平成11年度実施事業一覧表

分類	事業名	下位項目
精神障害者の社会復帰、地域ケアの推進事業		
技術支援 (医師、心理、OT、保健婦)		各区保健福祉センター・児童相談所
		少年相談センター
		保健所
		精神障害者小規模作業所巡回指導員支援
		保健福祉センターでの精神保健事業の評価等
就労支援		精神障害者社会参加促進検討委員会の設置
		精神障害者社会適応訓練事業関連
		ハローワーク等への就労支援
住まいの確保		10年度事業の継続、発展
自助グループの育成、支援		依存関係自助グループへの支援
		当事者の会への支援
ケアガイドライン事業		ケアガイドライン関連事業
関係者の精神保健福祉水準の向上に関する事業		
シンポジウム		児童・思春期セミナー
		セルフヘルプフォーラム
		ケアガイドライン事業
		障害者就労促進事業
教育・研修		子どもイブニング・セミナー"99"
		地域づくりと精神保健福祉研修
		ヘルパー研修
		精神障害者介護等支援専門員養成研修
		精神障害者就労支援者研修
行政職員に対する研修 (保健所と共催)		保健福祉センター各係の職員に対する研修
小冊子の作成		痴呆高齢者対応マニュアル
		精神障害者就労支援支援者向け小冊子
		各依存自助グループ案内冊子

	関係機関・関係者との ネットワーク作り	行政関係機関等連絡会議
市民啓発、こころの健康増進事業		
	市民向け講演会等	各区保健福祉センターとの共催で開催
	教育機関	薬物乱用予防教室事業(教育青少年課と共催) アルコール依存家庭の子ども、理解講座
	他機関主催の研修会への支援	講師派遣 出前講演講師
	ボランティアの育成	ボランティアグループへの支援 ボランティアフォロー研修等 こころの健康推進委員支援
思春期対策事業		
	思春期電話相談等	思春期ダイヤル
調査・研究事業		
		訓練現状シート 中学校教諭へのシンナーに関する意識調査
情報収集、提供事業		
	定例発行誌作成	精神保健福祉センター年報 北九州市の精神保健福祉(統計年報) 精神保健福祉センターだより
	他部局等からの依頼、共催事業	精神保健福祉事業協会の設立関係事務:障害福祉課 障害者法律相談:障害福祉課 「ボランティア講座」への協力:ボランティア大学校 福岡県精神保健福祉協会への協力 HIV関連事業:保健医療課 犯罪被害少年支援

(資料7) 東京都立精神保健福祉センター

業務のあらまし

当センターは東部13区（千代田、中央、文京、台東、墨田、江東、豊島、北、板橋、足立、葛飾、江戸川）及び島しょを担当地域とし、以下の業務を行っている。

(1) 技術援助

ア 技術援助一般

保健所をはじめ、精神保健に関わる機関や施設に対し、専門的立場から技術援助・協力を行っている。

イ 精神障害者社会適応訓練事業（旧通院患者リハビリテーション事業）訪問調査
精神障害者社会適応訓練事業の一環として、保健所と協力し、社会適応訓練を希望する障害者及び協力事業所について調査を行っている。

(2) 教育研修

精神保健福祉に関わる機関や施設職員を対象に、技術の向上と連携を図るため、研修を行っている。また、関係機関職員現任研修のための実習と、学生の教育実習を受け入れている。

(3) 広報普及

都民が自ら心の健康を保ちながら豊かな生活が営めるよう、また、心の病に悩む人々が地域で暖かく受け入れられるよう、精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動を行っている。

(4) 調査研究

地域精神保健福祉に関する諸活動を推進するために、調査研究を行うとともに、統計及び資料の収集を行っている。

(5) 精神保健福祉相談

ア 精神保健福祉相談一般

保健所で取り扱った事例のうち、複雑または困難なものについて、関係機関と協力しながら相談を行っている。

イ 島しょ巡回相談・援助事業

島しょにおける精神保健福祉活動の充実を図るため、島しょ保健所各出張所の要望に添って巡回相談・技術援助を行っている。

ウ 高齢者精神医療相談班

東京都痴呆老人精神科専門医療事業の一環として、痴呆性老人に関する専門的相談、訪問介護指導及び技術援助を行っている。

なお、平成11年7月の要綱改正により、老人精神医療相談班から高齢者医療相談班と呼称が改められた。

エ 複雑困難ケース訪問相談活動

医療につながらず近隣とのトラブルが生じているケースについて、家庭訪問をし、医学的判断による相談指導及び医療機関への橋渡しを行っている。

オ アルコール関連問題相談事業

保健所が行っているアルコール関連問題相談事業を補完するため、アルコール家族教育プログラムを実施している。また、専門的立場から関係機関への技術援助を行っている。

カ 薬物関連問題相談事業

平成8年1月より、専門相談員を置き、相談を開始した。

家族を対象とした薬物家族教育プログラム、専門スタッフによる事例検討会を実施している。

キ 心の夜間電話相談

心の悩みを持ち、昼間の時間帯に相談できない人たちの相談に応ずるために、平成7年7月から夜間20時までの電話相談業務を行っている。中部及び多摩総合精神保健福祉センターと曜日を分担し、当センターでは毎週木曜日に行っている。

(6) 組織育成

精神障害者の社会復帰を支える組織を育成し、障害者の社会復帰がより円滑に行えるように、地域の家族会、自助グループ、デイケア、共同作業所、福祉ホーム、グループホームなどの運営について指導助言を行っている。また、新たに組織を作ろうとするものに対する援助を行っている。

(7) 社会復帰活動（デイケア）

精神障害者の社会復帰援助のひとつとして、グループ活動を通し、利用者が社会生活を円滑に営めるようにするため、デイケアを実施している。平成7年9月から精神科デイケア基準（小規模）に基づき、診療報酬を徴収している。

精神保健福祉センター事業実績

1 技術指導・援助

年 度		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
技 術 援 助 件 数		2,125	1,899	1,912	1,732	1,722
技 術 援 助 再 掲	島 しょ	266	320	540	416	295
	巡回相談派遣回数	15	20	18	13	13
	アルコール関連問題	67	97	117	173	171
	事例検討会回数	42	43	45	46	44
	老人精神医療相談班	1,078	773	811	838	798
訪 問 回 数	122	140	142	153	149	

2 教育研修・実習生

関係機関職員研修	回 数	6	6	7	8	7
	日 数	15	13	25	22	23
	実人員	118	152	202	210	203
学生・関係職員実習	回 数	63	37	38	34	27
	実日数	43	37	34	179	39
	実人員	33	44	15	21	25

3 広報普及

ビデオ・パネル貸出件数	32	16	10	16	22
見 学 案 内 件 数	4	5	11	16	6
講 演 会 件 数	16	41	20	21	34
情 報 提 供 件 数	36	43	28	504	115

4 調査研究

調 査 研 究	1	4	7	4	5
---------	---	---	---	---	---

5 精神保健福祉相談（件数）

業務形態	電話相談	2,947	3,439	3,529	4,037	4,814
	新 来	607	653	616	552	545
	再 来	☆5,484	☆2,249	1,624	1,563	1,431
	訪 問	127	152	234	273	332
	夜間電話相談	—	228	338	529	537

年 度		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	
再 掲	老人精神医療相談班件数	50	155	170	165	177	
	アルコール 家族教育 プログラム	回 数	44	43	44	45	46
		参加者数	533	443	358	340	426
	薬 物 家族教育 プログラム	回 数	—	—	19	24	24
		参加者数	—	—	110	287	248

6 組織育成

組 織 の 育 成 件 数	180	311	365	292	147
---------------	-----	-----	-----	-----	-----

7 社会復帰活動

デイケア	利 用 者 数	1,750	2,733	2,621	2,178	2,029
	実 施 回 数	142	188	188	188	178
	実 施 頻 度	週 3 日	週 4 日	週 4 日	週 4 日	週 4 日

☆ デイケア利用者数を含む

(4) 複雑困難ケース訪問相談活動

病気であるという認識がなく、医療につながらず、また、家族や周囲の人による誤った対応により放置され、近隣とのトラブルが続いている在宅のケースを、医療、保健、福祉に結びつけるため、6年度から、複雑困難ケース訪問相談活動を開始した。

この活動は、次の業務を行っている。

- ① 保健所との連携により、未受診のケースや治療中断ケースの家庭を訪問し、患者の診察、家族への病状説明・医学的判断による相談指導を行い、必要に応じて医療機関受診の橋渡しをすること
- ② 保健所等との症例検討

平成10年度の実績は、表44～47のとおりである。

表44 病名別

診断名 (ICD-10)		平成 9年度			平成 10年度		
		男	女	計	男	女	計
F 0	症状性を含む器質性精神障害	1	0	1	0	0	0
F 1	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0	1	1	1	1	2
F 2	精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害	5	1	6	2	7	9
F 3	気分(感情)障害	0	0	0	1	0	1
F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体性障害	0	0	0	1	0	1
F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0	0	0	0
F 6	成人の人格及び行動の障害	0	0	0	0	0	0
F 7	精神遅滞	0	0	0	0	0	0
F 8	心理的発達の障害	0	0	0	0	0	0
F 9	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0	0	0	0
	未診断・保留	2	4	6	2	2	4
G40	てんかん	0	0	0	0	1	1
計		8	6	14	7	11	18

表45 年齢別男女別

年代	平成9年度			平成10年度		
	男	女	計	男	女	計
10	0	0	0	1	0	1
20	0	0	0	1	2	3
30	1	1	2	4	4	8
40	6	0	6	0	1	1
50	0	2	2	0	2	2
60	1	2	3	0	1	1
70	1	0	1	1	1	2
80	0	0	0	0	0	0
計	9	5	14	7	11	18

表46 相談者内訳(初回相談者)

初回相談者	9年度	10年度
保健所	11	11
福祉事務所	2	2
職場・教育機関	3	0
親 戚	0	0
同 胞	0	0
子 供	0	0
父(母)	2	3
夫(妻)	1	0
本人	0	0
その他	3	2
計(複数カウント)	19	18

表47 相談経路

年 度	9年度	10年度
保健所	13	15
都 庁	0	0
医療機関(無料)	0	0
広 報	0	0
福祉事務所	1	0
不 明	0	3
計	14	18